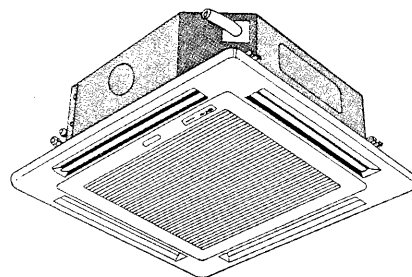
MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン

Mr.SLIM

取扱説明書

PLA-J・JAシリーズ

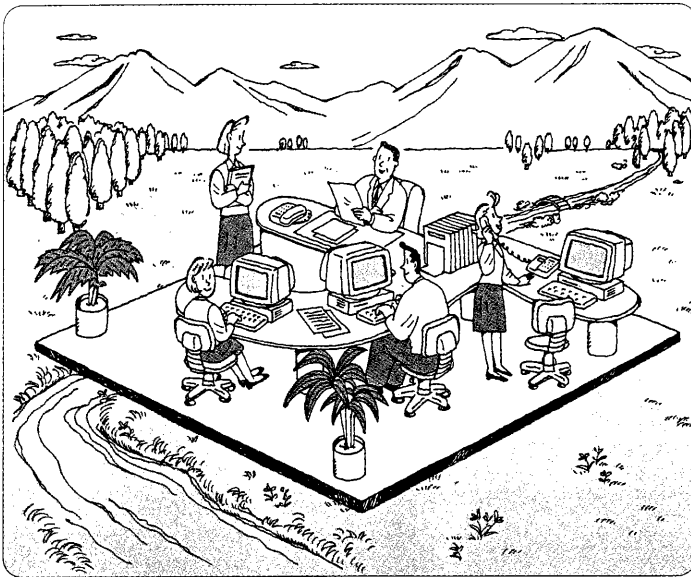
4方向天井カセット形

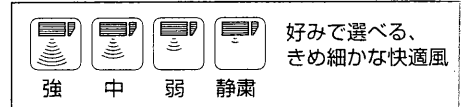
省エネで
守る環境 豊かな暮らし

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。
●お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。
●保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。
●お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。
●お客さまご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。

ミスタースリムの特長

4つのGood!!で、快適空間をお届けします。

Good!! 快適性

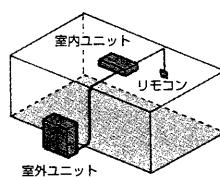
- 快適な風を吹き分ける オートベーン
- 選べる快適さ 風速4段階

Good!! 静音性

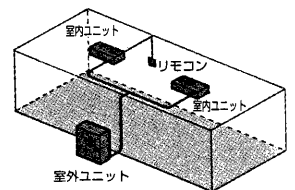
- 室内ユニットの風速調節に 静粛設定採用

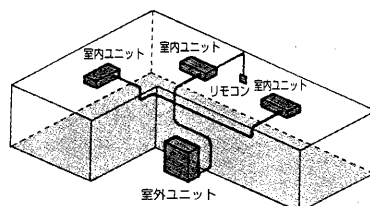
組み合わせいろいろ

● 同時運転タイプの場合は同一フロアでの使用が原則です。

標準システム

1台の室外ユニット・1台の室内ユニット・1個のリモコン
で構成された標準的なシステム

同時ツインシステム

1台の室外ユニット・2台の室内ユニット・1個のリモコン
で構成され1室を室内ユニット2台が同時運転するシステム
全ての室内ユニットが同じ運転モードとなります。

同時トリプルシステム

1台の室外ユニット・3台の室内ユニット・1個のリモコン
で構成され1室を室内ユニット3台が同時運転するシステム
全ての室内ユニットが同じ運転モードとなります。

同時フォーシステム

1台の室外ユニット・4台の室内ユニット・1個のリモコン
で構成され1室を室内ユニット4台が同時運転するシステム
全ての室内ユニットが同じ運転モードとなります。

Good!! **お手入れ性**

- ●フィルタークリーニングサインで、清掃時期をお知らせ
- ●ロングライフフィルターを標準装備し、清掃回数を削減
- ●上下風向ベーンの汚れもサッと一拭きの植毛レスベーンを採用

Good!! **インテリア性**

- ●天井面にすっきり溶け込む薄形の化粧パネル
- ●おしゃれなインテリアにもすっきり、やわらかくフィットするデザイン

リモコン（別売部品）

- ワイヤードタイプ、ワイヤレスタイプがあります。
- 1システムに2個のリモコンまで接続可能です。（ワイヤード、ワイヤレス併用可）

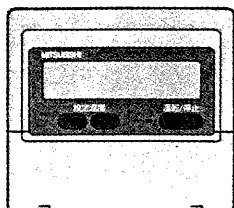
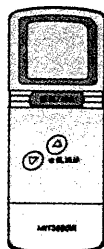
ワイヤードタイプ

ワイヤレスタイプ

もくじ

お使いになる前に

運転のしかた

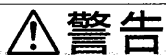
お手入れのしかた・困ったときに

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

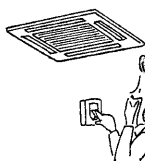
⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■"図記号"の意味は次のとおりです。

禁　止	ぬれ手禁止	水ぬれ禁止
指示を守る	アース線接続	

●ご使用時

⚠警告

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。

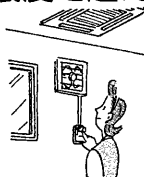
濡れ手禁止

長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。

禁止

万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策を行なう

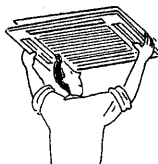
冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。

換気

エアコン及びリモコンを水洗いしない

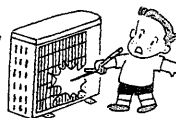
ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。

水濡れ禁止

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。

分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

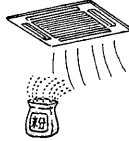
吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

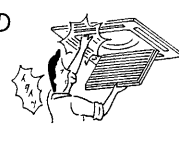
特にお子さまにご注意を！
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

禁止

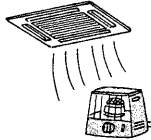
●ご使用時

⚠注意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

粉じんなどにより機器の故障や健康を損う原因になります。

室内ユニットの金属部にさわらない

フィルターを外したときにケガの原因になります。

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転及びホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。品質低下の原因になります。

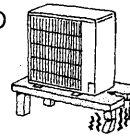
室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になります。

直接風があたる所に動植物を置かない

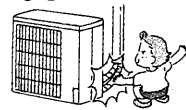
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。

薬品消毒はしない

火災・変形の原因になります。

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。

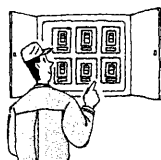
安全のために必ずお守りください

●据付け時　次の項目をご確認ください。

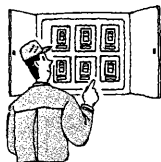
⚠警告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

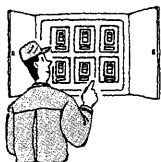
据付け

元電源の取付位置を確認する

元電源

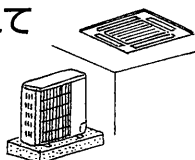
電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。

専用回路

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電の原因になります。

漏電遮断器

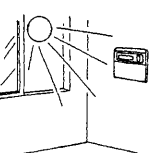
室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。

設置場所

使用される別売部品は当社指定品であること

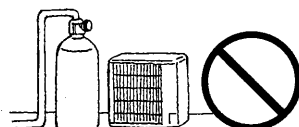
別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け、不備があると感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。

別売部品

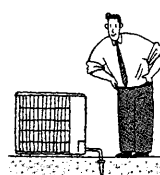
リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない。

据付禁止

⚠注意

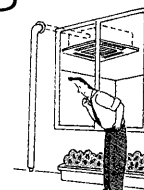
可燃性ガスの洩れる恐れのある場所へは据付けない

ガスが洩れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

設置禁止

アース工事を行なう

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース工事

ドレン配管は確実に行なう

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。

排水

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が洩れたときの処置）

万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行なってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

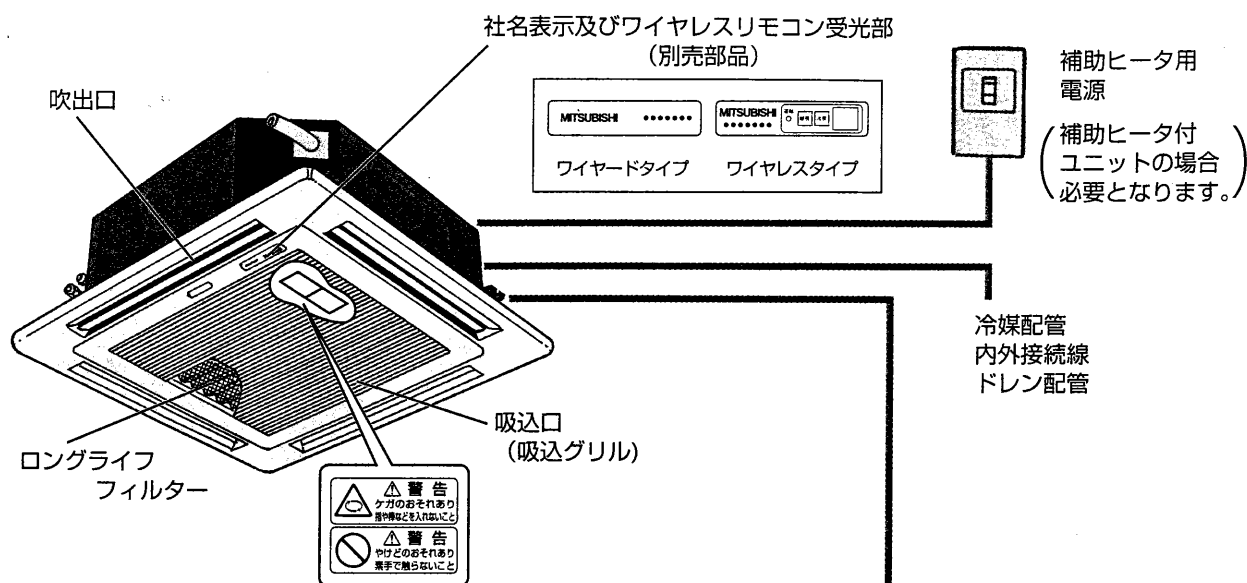
●次の場所への据付けは避けてください。

本体が腐食しガス洩れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

- 可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 酢（酢酸）を多量に使用するところ
- 油煙がたちこめるところ
- 温泉地などの硫化（イオウ系）ガスが発生するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪により室外ユニットが塞がれるところ

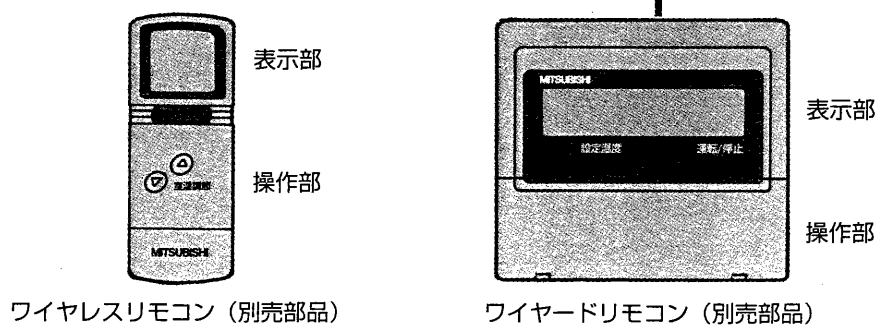
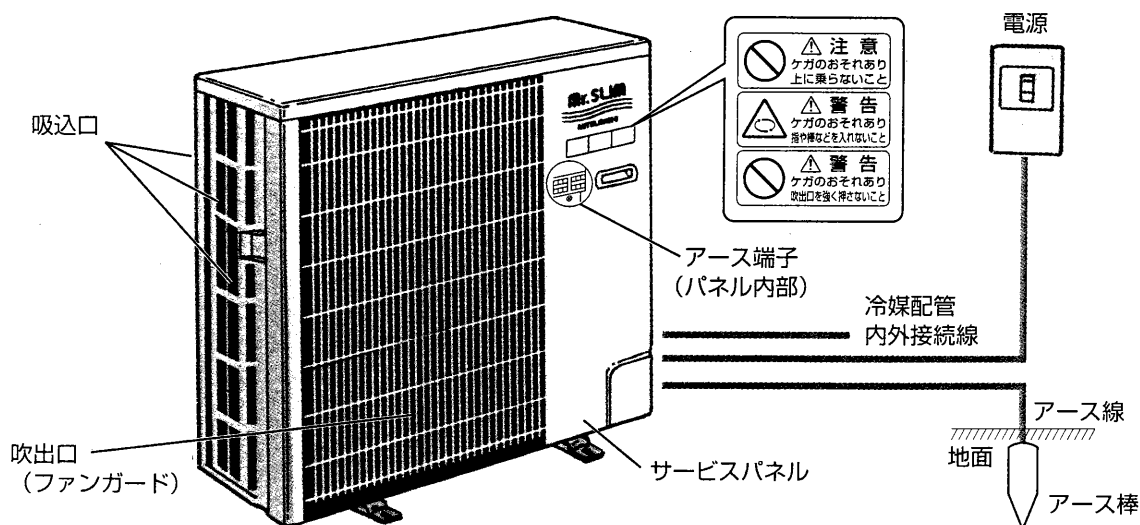
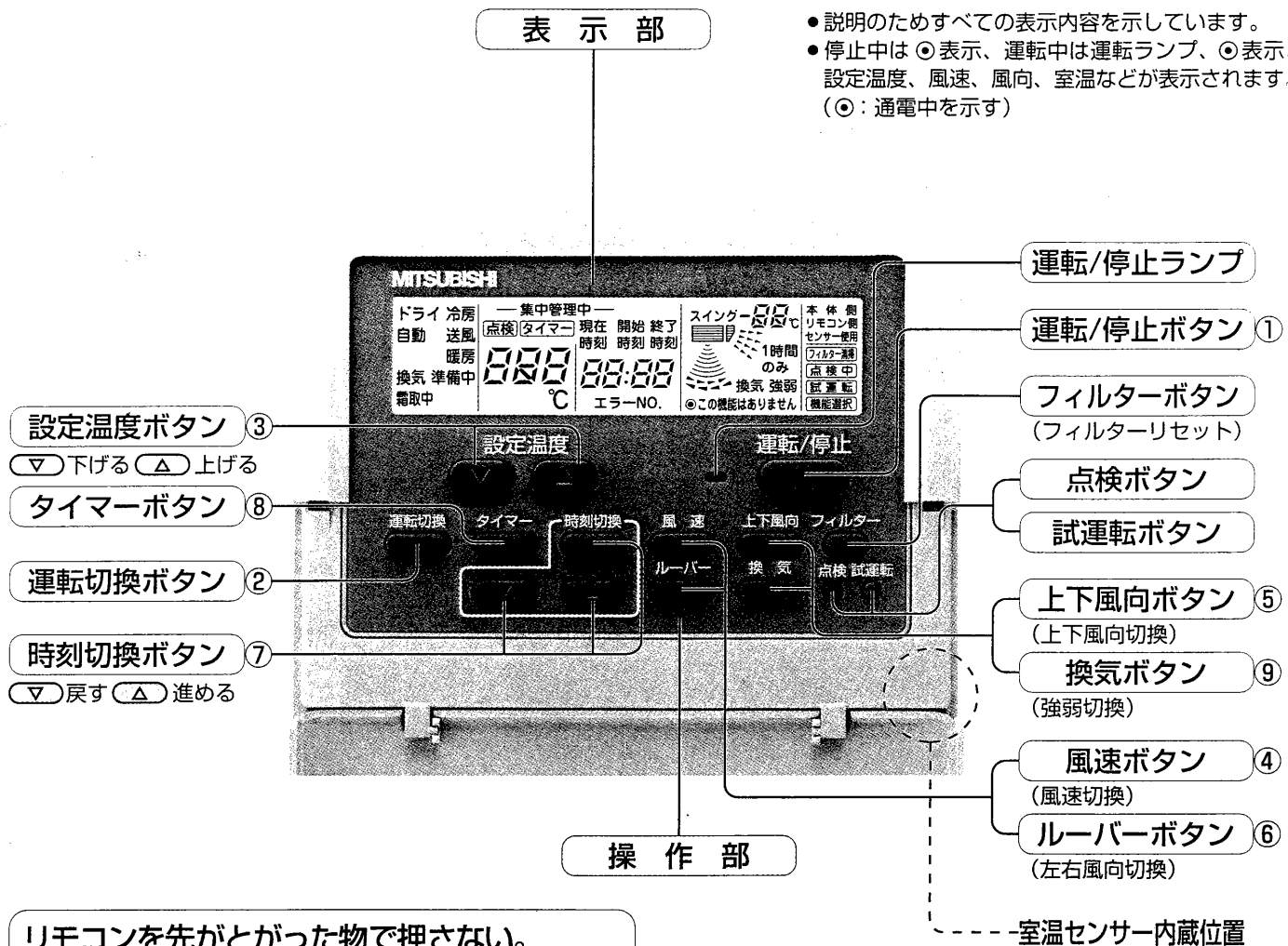
（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

各部のなまえ

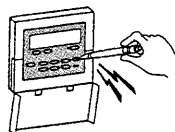
室内ユニット

リモコン

室外ユニット

ワイヤードリモコン（別売部品）

- 説明のためすべての表示内容を示しています。
- 停止中は ⊙表示、運転中は運転ランプ、⊙表示、設定温度、風速、風向、室温などが表示されます。
（⊙：通電中を示す）

リモコンを先がとがった物で押さない。

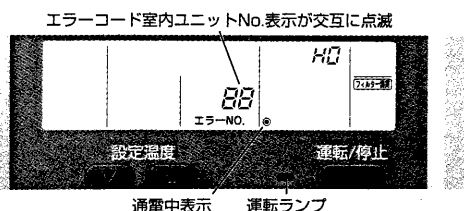
故障の原因になります。

禁止

リモコンガイド

- “H0” 表示（初期自動点検中）
  電源を入れたときと停電が復帰したとき…約2分間お待ちください。
- 運転ランプ・エラーコードの点滅
  点滅しているときは点検が必要です。
  エラーコードを確認の上、お買上げの販売店へご連絡ください。

エラーコード室内ユニットNo.表示が交互に点滅

設定温度　運転/停止　エラーNO.

通電中表示　運転ランプ

- “フィルター清掃” 表示
  フィルターの清掃をしてください。<18ページ参照>

“この機能はありません”

- 上下風向・ルーバー・換気ボタンを押しても機能がない室内ユニットの場合は “この機能はありません” 表示が出ます。
- 1個のリモコンで2種類以上の室内ユニットを同時運転している場合は1台でも機能を装備した室内ユニットがあれば表示されません。

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

●運転開始の前に…

電源（7ページ参照）が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。
エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

運転の開始、運転モードを選ぶとき

1. （運転／停止）ボタン①を押す。
   - 運転ランプと表示が点灯します。
2. (運転切換) ボタン②を押す。
   - 1回押すごとに設定が切換わります。

冷房 → ドライ → 送風 → 自動 → 暖房 → 換気
自動※1　暖房※1　換気※2

※1 冷房専用機種の場合は、自動と暖房の表示はされません。
※2 換気装置が連動されていない場合は、表示されません。
・換気装置が連動されている場合、全ての運転モードで連動しています。

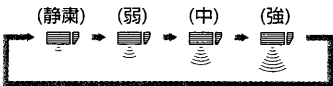
設定温度を変えたいとき

室温を下げたいとき…（▽）設定温度ボタン③を押す。
室温を上げたいとき…（△）設定温度ボタン③を押す。
- 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
- 温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19～30℃	17～28℃	19～28℃	設定できません

風速を変えたいとき

(風速) ボタン④を押す。
- 1回押すごとに設定が切換わります。

(静粛) → (弱) → (中) → (強)

お知らせ ■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
- "暖房準備中"・"霜取中" 表示のとき
- 暖房運転直後（モード切換待機中）
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき

上下風向を変えたいとき

(上下風向) ボタン⑤を押す。
- 1回押すごとに設定が切換わります。

表示		スイング → → → →				
運転モード	風速					
暖房・送風	強・中・弱・静粛	スイング	水平吹出し 30°	下吹出し 45°	下吹出し 55°	下吹出し 70°
冷房	強・中					
	弱・静粛	スイング	水平吹出し 30°	下吹出し 45°	下吹出し 55°	下吹出し 70°
ドライ	設定不可		↑ ※1時間設定有効			

※1時間経過すると自動的に水平吹出しにもどります。

運転モード変更時のマイコン自動設定
（スイング設定のときは継続します）
- 冷房・送風・ドライ・換気モードにしたとき …水平吹出し30°
- 暖房モードにしたとき ……………………………下吹出し70°

お知らせ ■このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
- "暖房準備中"・"霜取中" 表示のとき
- 暖房運転直後（モード切換待機中）
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき

左右風向を変えたいとき

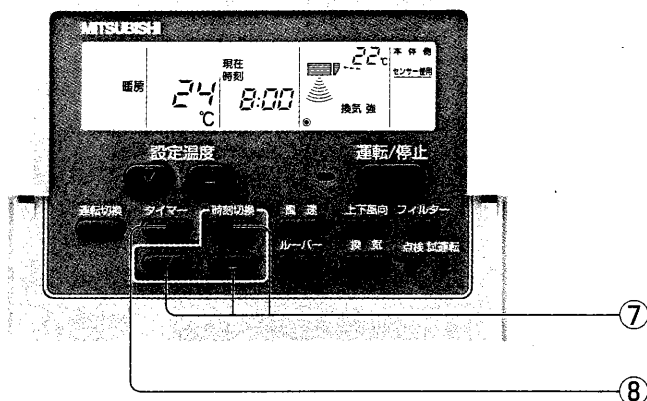
- 本機種には左右風向を切換える機能はありません。
（(ルーバー) ボタン⑥は使用できません。）

運転を停止するとき

（運転／停止）ボタン①を押す。

再運転時の運転内容（リモコン設定）

- 再運転時は下記リモコン設定内容となります。

			リモコン設定内容
運転モード	前回の運転モード		
設定温度	前回の設定温度		
風速	前回の設定風速		
上下風向	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し
		暖房	前回の設定風向
		送風・換気	水平吹出し

タイマー運転のしかた

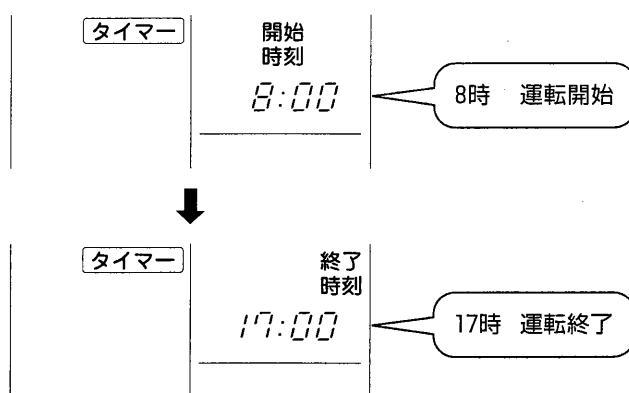
■タイマー運転には次の3つの方法があります。

- 入タイマー運転 運転の開始のみをタイマーで行なう。
- 切タイマー運転 運転の停止のみをタイマーで行なう。
- 入⇄切タイマー運転 運転・停止の両方をタイマーで行なう。

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。

■タイマー運転中（タイマー 表示しているとき）は時刻設定・変更はできません

■タイマー時刻設定は、10分単位です。

タイマー設定表示例

現在時刻の設定を行なうとき

1. 時刻切換 ボタン⑦を押し、表示を 現在時刻 にする。
2. 時刻切換 △ ボタン⑦を1回押すごとに進み、
   時刻切換 ▽ ボタン⑦を1回押すごとに戻る。
   - ボタンを押し続けると早送り（早戻し）になります。
   - 設定終了後約10秒で表示は消えます。

入タイマー運転を行なうとき

1. 時刻切換 ボタン⑦を押し、表示を 開始時刻 にする。
2. 時刻切換 △ または ▽ ボタン⑦を押して時刻を合わせる。
3. 終了時刻 を --:-- の表示に設定する。
   - --:-- の表示は23：50と0：00の間に表示されます。
4. タイマー ボタン⑧を押し、表示を タイマー にする。

切タイマー運転を行なうとき

1. 時刻切換 ボタン⑦を押し、表示を 終了時刻 にする。
2. 時刻切換 △ または ▽ ボタン⑦を押して時刻を合わせる。
3. 開始時刻 を --:-- の表示に設定する。
4. タイマー ボタン⑧を押し、表示を タイマー にする。

入⇄切タイマー運転を行なうとき

1. 入タイマー・切タイマー両方の設定をする。
2. タイマー ボタン⑧を押し、表示を タイマー にする。

タイマー運転を解除するとき

タイマー ボタン⑧を押して タイマー 表示を消す。

お知らせ ■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

タイマー運転のしかた

自動運転、換気単独・換気連動運転のしかた

自動運転を行なうとき

1. （運転／停止）ボタン①を押す。
2. (運転切換) ボタン②を押し、表示を［自　動］にする。
   - 設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。
     〈リモコンに表示します〉（16ページ参照）

換気単独運転を行なうとき

1. （運転／停止）ボタン①を押す。
2. (運転切換) ボタン②を押し、表示を［換　気］にする。
   - 冷房運転・暖房運転などの必要がなく換気運転のみをしたい時に使用します。
   - 換気装置が連動接続されていない時は［換　気］の表示はされません。

換気風量を変えたいとき

(換　気) ボタン⑨を押す。
- 1回押すごとに設定が切換わります。

  換気　弱 ⇄ 換気強

換気連動運転を行なうとき

1. （運転／停止）ボタン①を押す。
   - 換気装置が連動接続している場合は、自動的に換気運転します。
2. (換　気) ボタン⑨を押す。
   - 換気風量、強／弱どちらかに設定できます。

ワイヤレスリモコン（別売部品）

リモコンを先がとがった物で押さない。

故障の原因になります。

禁止

リモコンガイド

●リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。

●電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから"ピッピッ"と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約2分間お待ちください。

●リモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから"ピッ"と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。

●受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。
お買上げの販売店へご連絡ください。

●リモコンの取扱いは大切に！　落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。

●紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

●運転開始の前に…

電源（7ページ参照）が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。
エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

運転の開始、運転モードを選ぶとき

1. (運転/停止) ボタン①を押す。
   - 表示が点灯します。
2. (◯ 運転切換) ボタン②を押す。
   - 1回押すごとに設定が切換わります。
   （換気単独運転にすることはできません）

→ 冷房 → ドライ → 自動 → 送風 → 暖房 →
※1（自動）　※1（暖房）

※1 冷房専用機種は、自動と暖房設定はできません。
リモコンの表示が自動の場合は冷房運転、
暖房の場合は送風運転となります。

設定温度を変えたいとき

温度を下げたいとき… (▽) ボタン③を押す。
温度を上げたいとき… (△) ボタン③を押す。
- 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
- 温度設定範囲は次の通りです。

冷房･ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19〜30℃	17〜28℃	19〜28℃	設定できません

風速を変えたいとき

(風速) ボタン④を押す。
- 1回押すごとに設定が切換わります。

→ (静粛) → (弱) → (中) → (強) →

(お知らせ) ■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
- “暖房準備中”･“霜取中” 表示のとき
- 暖房運転直後（モード切換待機中）
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき

上下風向を変えたいとき

(風向) ボタン⑤を押す。
- 1回押すごとに設定が切換わります。

表示		スイング →	→	→	→	→
運転モード	風速					
暖房・送風	強･中･弱･静粛	スイング	水平吹出し 30°	下吹出し 45°	下吹出し 55°	下吹出し 70°
冷房	強・中					
	弱・静粛	スイング	水平吹出し 30°	下吹出し 45°	下吹出し 55°	下吹出し 70°
ドライ	設定不可		↑ ※1時間設定有効			

※1時間経過すると自動的に水平吹出しにもどります。

運転モード変更時のマイコン自動設定
（スイング設定のときは継続します）
- 冷房･送風･ドライ･換気モードにしたとき …水平吹出し30°
- 暖房モードにしたとき ……………………………下吹出し70°

(お知らせ) ■このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
- “暖房準備中”･“霜取中” 表示のとき
- 暖房運転直後（モード切換待機中）
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき

左右風向を変えたいとき

- 本機種には左右風向を切換える機能はありません。
（(ルーバー) ボタン⑥は使用できません。）

運転を停止するとき

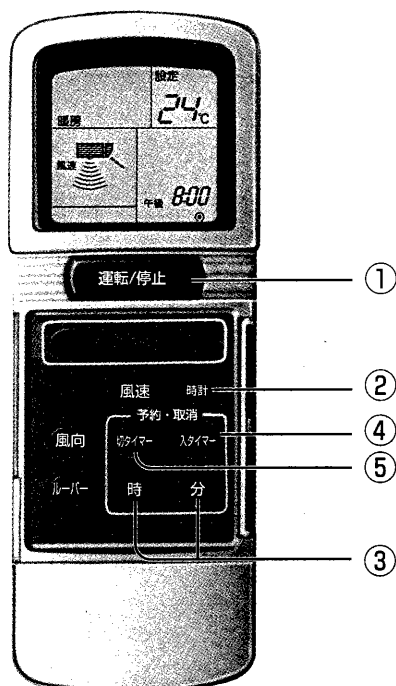
(運転/停止) ボタン①を押す。

電池組込み／交換時のリモコン設定内容

- 電池を入れた場合や交換した時には必ずリセットボタンを押してください。
- 電池組込み／交換時は初期設定、2回目以降は再運転時内容となります。

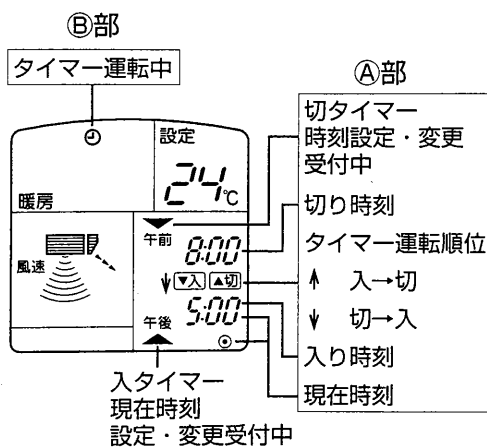
	初期設定	再運転時内容		
運転モード	送風	前回の運転モード		
設定温度	ー	前回の設定温度		
風速	強	前回の設定風速		
上下風向	水平吹出し	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し
			暖房	前回の設定風向
			送風	水平吹出し

タイマー運転のしかた

タイマー運転のしかた

- タイマー運転の設定は、リモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから"ピッ"と音のすることを確認しながら行なってください。

■タイマー運転には次の3つの方法があります。

- 入タイマー運転 運転の開始のみをタイマーで行なう。
- 切タイマー運転 運転の停止のみをタイマーで行なう。
- 入⇄切タイマー運転 運転・停止の両方をタイマーで行なう。

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
■タイマー時刻設定は、10分単位です。

現在時刻の設定を行なうとき

1. 運転/停止 ボタン①を押す。
   - リモコンに表示がでます。
2. 時計 ボタン②を押す。
   - Ⓐ部に▲が表示されます。
3. 時 分 ボタン③を押し、現在時刻を合わせる。
   (電池を入れて最初に現在時刻を合わせる時もここから操作してください。)
4. 時計 ボタン②をもう1回押す。
   - Ⓐ部の▲表示が消えます。
   (現在時刻合わせの設定完了です。)
   - 設定中に▲表示が消えた時には手順2からやり直してください。

入タイマー運転を行なうとき

1. 運転/停止 ボタン①を押す。
   - リモコンに表示がでます。
2. 入タイマー ボタン④を押す。
   - Ⓐ部に▲・▼入、Ⓑ部に ◷ が表示されます。
3. 時 分 ボタン③を押し、入り時刻を合わせる。
   - 入タイマー時刻設定後Ⓐ部の▲表示は10秒間点灯して消え、入タイマー運転が開始します。
   - エアコンの運転は自動的に停止し、入り時刻 まで待ちます。
   - 設定中に▲表示が消えた時には手順2からやり直してください。

切タイマー運転を行なうとき

1. 運転/停止 ボタン①を押す。
   - リモコンに表示がでます。
2. 切タイマー ボタン⑤を押す。
   - Ⓐ部に▼・▲切、Ⓑ部に ◷ が表示されます。
3. 時 分 ボタン③を押し、切り時刻を合わせる。
   - 切タイマー時刻設定後Ⓐ部の▼表示は10秒間点灯して消え、切タイマー運転が開始します。
   - 設定中に▼表示が消えた時には手順2からやり直してください。

入⇄切タイマー運転を行なうとき

入タイマー・切タイマー両方の設定をする。

- Ⓐ部に 切り時刻 ↑↓ ▼入 ▲切 入り時刻 が表示されます。

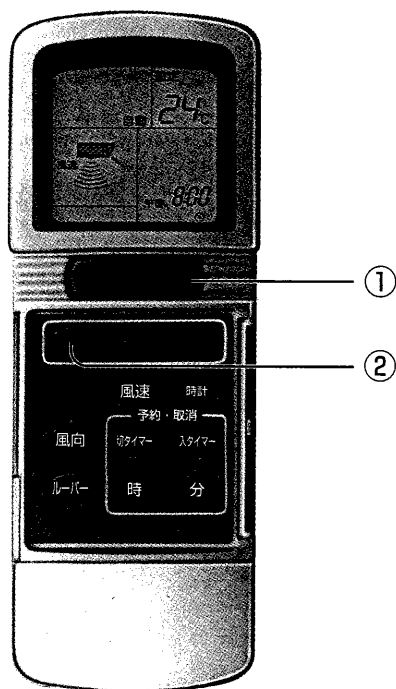
↑↓表示は↑または↓どちらかが表示され、
↑は ▼入 → ▲切 を、
↓は ▲切 → ▼入 を表わします。

応急運転のしかた

タイマー運転を解除するとき

（運転/停止）ボタン①を押す。

お知らせ ■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

自動運転 換気連動運転のしかた

自動運転を行なうとき

1. （運転/停止）ボタン①を押す。
2. （運転切換）ボタン②を押し、表示を［自　動］にする。
   - 設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。
   （16ページ参照）

換気連動運転を行なうとき

- 換気装置が連動接続している場合はエアコンが運転を開始すると自動的に換気も運転します。
- リモコンには表示されません。

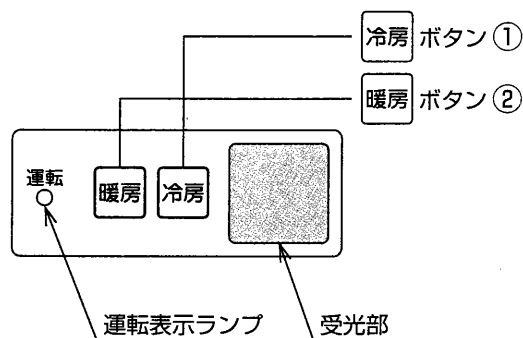
お知らせ ■ワイヤレスリモコンでの換気単独運転はできません。

リモコンが使えないとき

リモコンの乾電池が切れたり、リモコンが故障したときには、室内ユニットの受光部付近の応急運転ボタンを使って応急運転ができます。

運転を開始したいとき。

- 冷房運転……［冷房］ボタン①を押す。
- 暖房運転……［暖房］ボタン②を押す。

※運転表示ランプの点灯で運転開始をお知らせします。

※応急運転時の運転内容は下記になります。

運転モード	冷房	暖房
設定温度	24℃	24℃
風速	強	強
風向	水平吹出し30°	下吹出し70°

運転を停止したいとき。

- ボタン①または②どちらかを押す。

自動運転、換気連動運転・応急運転のしかた

もっと知りたいとき

ドライ運転とは

● ミスタースリムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転（ドライ運転）を行ないます。
● 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
● 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行なわれ、リモコンでは設定できません。

●運転モード

室温	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間（分）	圧縮機停止時間（分）
	温調信号	室温		
18℃を超える	ON	28℃以上	9	3
		26〜27℃	7	3
		24〜25℃	5	3
		23℃以下	3	3
	OFF	無条件	3	10
18℃以下	圧縮機運転禁止			

温調信号ON …室温が設定温度より高い場合
温調信号OFF…室温が設定温度より低い場合

1. お好みの室温になるまで
 室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。
2. お好みの温度になると
 圧縮機・室内ファンとも停止します。
 10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

暖房運転について

● 暖房開始時に風が出ない：冷風を出さないよう室内ファンは吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。
（ホットスタートといいます）
● 風速が設定どおりでない：室温が設定温度となり、風速は微風となります。
● ワイヤードリモコンに“霜取中”“暖房準備中”の表示中は冷風を出しません。ワイヤレスリモコンでは受光部付近にある表示灯の点灯でお知らせします。
● 運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

霜取中とは

● 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行なっているときに表示します。
霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。
● 霜取運転を行なっているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

換気連動運転とは

● 室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行なうものです。

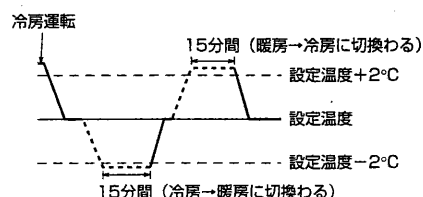
ミスタースリムの使用温度範囲

		室内	室外
冷房・ドライ	乾球温度	19℃〜32℃	−5℃〜43℃
	湿球温度	15℃〜23℃	———
暖房	乾球温度	17℃〜28℃	−11℃〜21℃
	湿球温度	———	−12℃〜15℃
送風・換気	乾球温度	———	———

風向について

● 冷房・ドライ運転時、下吹出しに設定しますと、1時間経過後、自動的に水平吹出しに戻ることがあります。これは上下風向ベーンや吹出し口周辺などに露つき、露たれが生じたり、露飛びを防止するためです。繰り返しご使用されて、露つきなどが発生した場合は、水平吹出しに戻してください。

自動運転とは

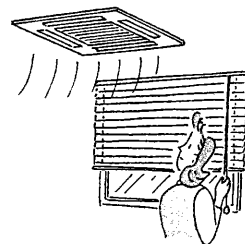
● 設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
● 自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。

上手な使い方

上手な使い方－“ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

● 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
● 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
● たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10％の電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく

● 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
● 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

● 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
● 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

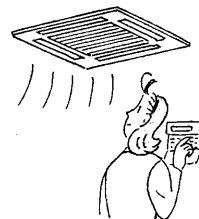
フィルターの清掃を

● フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房･暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。
● フィルターは通常の環境では約2,500時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。
● ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。（18ページ参照）

中間期にはドライ運転を

● ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70％、冬では55～70％程度といわれています。
● ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じることがあります。ドライ運転をご利用ください。

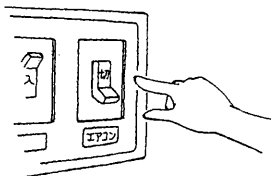
室内の温度ムラ解消に風向調節を

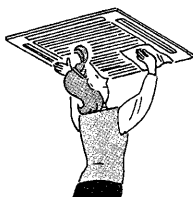
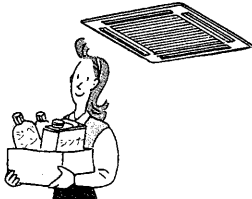
● 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
● 暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。

ときどき換気を

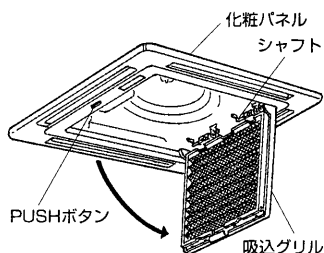
● 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
● 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
● 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

お手入れのしかた

お手入れのまえに

⚠注意
必ず、電源を「切」にしてください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

室内ユニットの清掃

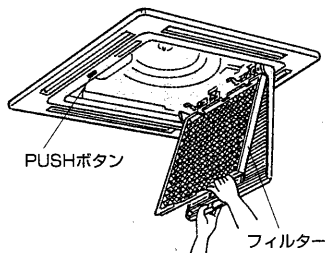
■やわらかい布でから拭きをしてください。

■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。故障の原因になります。
■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。
■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

吸込グリルの清掃

(1) 吸込グリルを取外す。
①吸込グリル外側の（PUSH）ボタンを押すと、吸込グリルが自動的に開きます。
②吸込グリルのヒンジ部のシャフトを左右方向へスライドすれば、化粧パネルから吸込グリルが取外せます。

⚠注意
吸込グリルを取外すときは、目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行なうときは、転倒しないように注意してください。

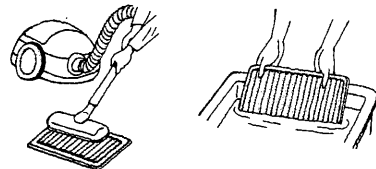
(2) 吸込グリルを水洗いする。
■やわらかい布で軽く拭くように洗ってください。水洗いのあとは、やわらかい布で水分を拭きとって陰干ししてください。
■家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使うときは、洗剤が残らないよう、よく水洗いしてください。
■タワシやスポンジの硬い面などで洗うと傷つくので使わないでください。
■長時間（2時間以上）温水や水につけておかないでください。直射日光や直接火などで乾燥させないでください。変形や変色の原因となります。

(3) 吸込グリルを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

フィルターの清掃

(1) フィルターを取外す。
■吸込グリルを開いてください。
■吸込グリル端面中央のツマミ部を倒し、フィルターを手前に引くと、フィルターが外れます。

⚠注意
フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行なう時は、転倒しないように注意してください。

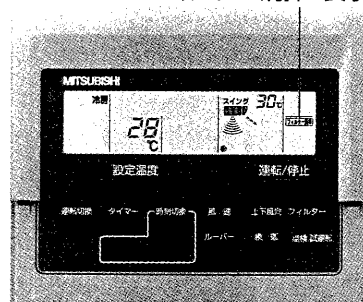
⚠注意
フィルターを取外した状態で運転をしないでください。
内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。

(2) フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。
■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。

(3) 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。
■フィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさないでください。

(4) フィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

フィルター清掃時期

■フィルターは通常の環境では約2,500時間ごと、及びシーズンの始めと終わりに清掃してください。
■ワイヤードリモコンの場合は“フィルター清掃”表示を点滅させて清掃時期をお知らせします。

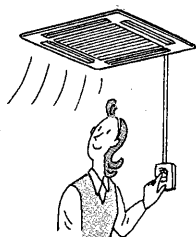
“フィルター清掃”表示

“フィルター清掃”表示をリセットする

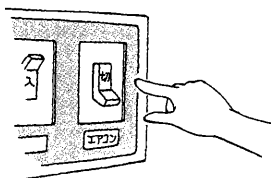
(1) フィルター清掃後（フィルター）ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。
■2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります（ロングライフフィルター：約2,500時間、一般フィルター：約100時間）。清掃時期の短い時間により“フィルター清掃”表示されます。また、フィルター清掃”表示を消すと全ての積算時間がリセットされます。
■“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

長期間ご使用にならないとき　別売部品について

長期間ご使用にならないとき

(1) 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

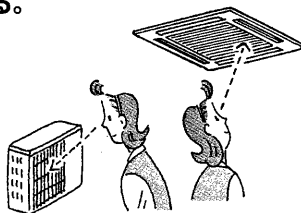
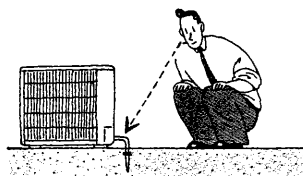
■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。

(2) エアコンの電源を切る。

■電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。

(3)〈ワイヤレスリモコン使用の場合〉リモコンから乾電池を取出す。

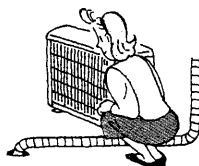
再度使い始めるとき

■下記作業（1）～（4）の点検を行ない、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

(1) フィルターを清掃して、取付ける。

(2) 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。

(3) アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

⚠注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。
アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行なう場合は販売店にご相談ください。

(4) ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

(5) 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

別売部品について

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応いただけるように、専用の別売部品を用意しています。

室内ユニット用別売部品

■高性能フィルター
例えば、学校・学習塾等、チョークの粉などが多い環境でお使いください。
※併せて多機能ケースメントが必要です。

■多機能ケースメント
新鮮な外気を室内に取込む時に使います。

■吹出口シャッタープレート
吹出口数を３方向にする時に使います。

■加湿器
暖房時、お部屋の湿度が不足する場合に使います。

■スペースパネル
天井ふところが浅い天井に設置する場合に使います。

室外ユニット用別売部品

■吹出しガイド
風の吹出し方向を変更する部品です。

■エアガイド
－15℃での低外気冷房を可能にする部品です。

■ドレンソケット／集中排水ドレンパン
通路上への架台設置、またはドレンを一ヶ所から排水する場合に使用する部品です。

■防雪ダクト
降雪地域で、室外ユニットへの雪の浸入を防ぐ部品です。

■安全ネット
吸込口、吹出口を外力から保護する部品です。

■進相コンデンサ
3相電源機種の力率改善にご利用ください。

制御用別売部品

■スケジュールタイマー
1週間の曜日毎、運転時間を2モード（終日停止を含むと3モード）から選定できます。

■集中コントローラ／マルチパネルコントローラ
室内ユニット50台までを集中制御できます。集中制御には、一括／グループ毎に運転・停止／運転モードの切替え／設定温度の変更などを行なうことができます。

「故障かな？」と思ったら

故障かな？	お答えします。（故障ではありません）
よく冷えない。よく暖まらない。	■フィルターの清掃をしてください。 （フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです） ■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ■室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。 室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？ ■窓やドアが開いていませんか？
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	■充分に暖かな風をおとどけするため準備中です。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。
風向が途中で変わる、風向が設定できない。	■冷房運転中、下吹出しで使用しますとベーンが自動的に1時間後に水平吹出しになります。これは水滴が滴下するのを防ぐためです。 ■暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。
風向を変化させたときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。	■風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
部屋がにおう。	■エアコンが壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。 ■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
リモコンの運転表示が点灯しない。	■電源開閉器を入れてください。表示部に“⊙”が表示されます。

故 障 か な ？	お答えします。（故障ではありません）
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	■“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。	■約3分間お待ちください。 （エアコンを保護するため、止まっています）
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■入タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。 ■遠方コントロールが接続されていませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ■“集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ■停電自動復帰を設定していませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■切タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。 ■遠方コントロールが接続されていませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。 ■“集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	■スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。
リモコンに“HO”の表示が出る。	■初期自動点検（約2分）を行なっているためです。
リモコンにエラーコードが表示される。	■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	■乾電池が消耗しています。 乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。 ※新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方（＋、－）を再度確認してください。
ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する。	■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では、絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買上げ販売店に製品名を連絡してください。

保証とアフターサービス

●「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
●お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」（別添）へお問い合わせください。

保証書

■室内ユニットに保証書を添付しております。
■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
■保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

■パッケージエアコンの補修性能部品の最低保有期間は、通商産業省の指導により製造打切り後9年です。
■性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“「故障かな？」と思ったら”（20・21ページ参照）に従ってお調べください。
なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。
■保証期間中は
修理に際して、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代＋（出張料）などで構成されています。
■ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室内ユニット・室外ユニット共に！ 保証書に記入してあります。
3.お買上げ日	○○年○月○日
4.故障の状況	できるだけ詳しく（リモコンのエラー表示記号なども）
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

■エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。
臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
■点検と保全周期の目安［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間
モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
膨張弁	1年	20,000時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
センサー（サーミスタ、圧力センサーなど）		5年
ドレンパン		8年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
（機種によりことなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年と仮定しています。（氷畜熱等夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）
③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）

保証とアフターサービス／移設・工事について

■消耗部品の交換周期目安［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年
高性能フィルター		1年
ファンベルト		5,000時間
平滑コンデンサー		10年

主要部品名	点検周期	交換周期
ヒューズ	1年	10年
加湿エレメント		5年
クランクケースヒーター		8年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

移設について

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
■据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

据付場所について

次の場所への使用は避けてください。
■可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
■硫黄系ガス・酸・アルカリの発生するところ
〈温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など〉
熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こす恐れがあります。
■機械油を使用するところ〈加工油を用いプレスや切削をする機械工場など〉
プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。

⚠注意	●可燃性ガスの洩れる恐れのある場所には据付けない。 万一ガスが洩れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。（室内ユニット）
■食用油を使用するところ〈厨房など〉
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。
厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。
■湿気の多いところ
冷房時に結露しやすくなります。
■高周波を発生する機械（高周波ウェルダー、医療機器、通信機器など）を使用するところ
通信異常やマイコン誤動作の恐れがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。
■化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用するところ〈美容室など〉
臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。

海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意（室外ユニット）
■海浜地区等塩分の多いところ
使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。
■積雪の多いところ
室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売として用意しています。）

室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工してください。
■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカやヒューズが切れることがあります。
■ブレーカ・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

⚠注意	●アース工事を行う。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になります。
	●据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断機を取付ける。 漏電遮断機が取付けられていないと、感電の原因になります。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの重量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。
■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。
■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。性能低下や運転音増大のもとになります。

仕様

本表は1対1の組合せのみを記載しております。
マルチの組合せでの仕様についてはカタログ等を参照してください。

ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

50／60Hz

冷暖房形セット形名	ヒータレス	PLH-J40SJA9G9	PLH-J40JA9G9	PLH-J45SJA9G9	PLH-J45JA9G9	PLH-J50SJA9G9	PLH-J50JA9G9
	ヒータ付	PLH-J40SJAH9G9	PLH-J40JAH9G9	PLH-J45SJAH9G9	PLH-J45JAH9G9	PLH-J50SJAH9G9	PLH-J50JAH9G9
冷房形セット形名	冷房専用形	PL-J40SJA9G9	PL-J40JA9G9	PL-J45SJA9G9	PL-J45JA9G9	PL-J50SJA9G9	PL-J50JA9G9
性能（冷房形は暖房しません）	冷房能力 kW	3.6／4.0		4.0／4.5		4.5／5.0	
	暖房能力 kW	4.0／4.5 (5.4／5.9)		4.2／4.8 (5.6／6.2)		5.0／5.6 (6.4／7.0)	
	暖房低温能力 kW	3.0／3.4 (4.4／4.8)		3.2／3.6 (4.6／5.0)		3.8／4.2 (5.2／5.6)	
室内ユニット形名（冷暖房・冷房専用形共通）		PLA-J40(S)JA(H)9	PLA-J40JA(H)9	PLA-J45(S)JA(H)9	PLA-J45JA(H)9	PLA-J50(S)JA(H)9	PLA-J50JA(H)9
室内ユニット	ヒータ電源	単相200V	3相200V	単相200V	3相200V	単相200V	3相200V
	騒音：強―中―弱―静粛 dB	35―34―32.5―31				37―35.5―34―32	
	風量：強―中―弱―静粛m3/min	15―14.5―14―13				16―15―14―13	
	補助ヒータ kW	(1.4)					
	外形寸法(高さ×巾×奥行)mm	298×660×660					
	質量（本体＋パネル）kg	19 (20) ＋3.7					
冷暖房形室外ユニット形名		PUH-J40SGA9	PUH-J40GA9	PUH-J45SGA9	PUH-J45GA9	PUH-J50SGA9	PUH-J50GA9
冷房形室外ユニット形名		PU-J40SGA9	PU-J40GA9	PU-J45SGA9	PU-J45GA9	PU-J50SGA9	PU-J50GA9
室外ユニット	電源	単相200V	3相200V	単相200V	3相200V	単相200V	3相200V
	騒音 dB	43					
	風量 m³／min	40					
	外形寸法(高さ×巾×奥行)mm	650×900×〔330＋20〕					
	質量 kg	51〈50〉				54〈53〉	

冷暖房形セット形名	ヒータレス	PLH-J56SJA9G9	PLH-J56JA9G9	PLH-J63JA9G9	―――
	ヒータ付	PLH-J56SJAH9G9	PLH-J56JAH9G9	PLH-J63JAH9G9	―――
冷房形セット形名	冷房専用形	PL-J56SJA9G2	PL-J56JA9G2	PL-J63JA9G2	―――
性能（冷房形は暖房しません。）	冷房能力 kW	5.0／5.6		5.6／6.3	―――
	暖房能力 kW	5.6／6.3 (7.0／7.7)		6.3／7.5 (8.4／9.6)	―――
	暖房低温能力 kW	4.2／4.8 (5.6／6.2)		4.6／5.6 (6.7／7.7)	―――
室内ユニット形名（冷暖房・冷房専用形共通）		PLA-J56(S)JA(H)9	PLA-J56JA(H)9	PLA-J63JA(H)9	PLA-J71JA(H)9
室内ユニット	ヒータ電源	単相200V	3相200V		
	騒音：強―中―弱―静粛 dB	37―35.5―34―32		39―38―36.5―35	39.5―38―36.5―35
	風量：強―中―弱―静粛m3/min	16―15―14―13		17―16―15―14	
	補助ヒータ kW	(1.4)		(2.1)	
	外形寸法(高さ×巾×奥行)mm	298×660×660			
	質量（本体＋パネル）kg	19 (20) ＋3.7		20 (21) ＋3.7	
冷暖房形室外ユニット形名		PUH-J56SGA9	PUH-J56GA9	PUH-J63GA9	―――
冷房形室外ユニット形名		PU-J56SGA2	PU-J56GA2	PU-J63GA2	―――
室外ユニット	電源	単相200V	3相200V	3相200V	―――
	騒音 dB	43〈45〉			―――
	風量 m³／min	50		45	―――
	外形寸法(高さ×巾×奥行)mm	855×900×〔330＋20〕		855×900×〔330＋20〕	―――
	質量 kg	71〈70〉		76〈75〉	―――

※(　) 内の数値は、ヒータ付の場合で組込みの補助ヒータの作動時を示します。冷房専用室内ユニットには補助ヒータはありません。
※／で示される数値は左が50Hz、右が60Hzで、その他は50Hz、60Hz共通です。
※電気特性は製品に貼付してあります製品銘板に記入してあります。
※〈　〉内の数値は冷房専用室外ユニットの値を示します。
※J71形はマルチ専用機のため室内ユニットの数値のみ記載しています。
◎上表以外の組合せについてはカタログをご参照ください。

仕様

愛情点検 ●長年ご使用のエアコンは点検を！

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際
このようなことは
ありませんか

●運転音が異常に大きくなる。
●室内ユニットから水が漏れる。
●電源が頻繁に落ちる。
●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のため記入しておくと便利です。	お買上げ（据付）日　　　年　　月　　日
お買上げ店名	電話

静岡製作所　〒422-8528 静岡市小鹿3-18-1
☎(054)285-1111(代表)

BG79P236H01